

美術

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
9	開隆堂出版	開隆堂◆	美術 009-72・009-82	A4 変形 200	令和6年
38	光村図書出版	光村◆	美術 038-72・038-73・038-82	A4変型 <small>※038-73はA4</small> 208	
116	日本文教出版	日文◆	美術 116-72・116-83・116-84	A4 変形 198	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

都立 白鷗高等学校附属中学校 美術 採択資料

	発行者の番号 略 称	9 開隆堂	38 光 村	116 日 文
内 容	日本の美術作品や受け継がれてきた表現の特質を扱っている箇所数	196	269	260
	諸外国の美術や文化を扱っている箇所数	120	133	130
	「A表現」の内容別題材数	24	25	36
	「A表現」の「表現技法、材料、用具の扱い」について具体的に示したページ数	80	83	95
	「B鑑賞」の題材等の数	58	66	90
構成上の工夫	題材のページにおける内容や表示の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・各題材ページの左上部に関連ページを示し、関連する資料を確認できるようにしている。 ・表現の題材には必ず鑑賞のページを設け、表現と鑑賞の一体化を図っている。 ・各題材で、「発想・構想」、「知識・技能」、「鑑賞」の表示と説明文を入れ、学習の進め方等を示している。 ・「作者の言葉」で発想や構想、表現の工夫、作品に込めた思いを示している。 ・「美術の用語」のコラムを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・題材ページの下部に関連ページを示し、関連する資料を確認できるようにしている。 ・表現の題材には必ず鑑賞のページを設け、表現と鑑賞の一体化を図っている。 ・「みんなの工夫」の小見出しを用意し、表現する際の具体的な工夫について記載している。 ・体験的に学ぶことができるよう、見開きで大きく作品を掲載したり、日本の美術作品に合わせて紙の素材を変えたりしている。 ・美術作品に関連した「美術史ワード」「作者紹介」等のコラムを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文や作品の下部に「参照」として関連するページを示し、関連する資料を確認できるようにしている。 ・題材名の下に「鑑賞の入り口」があり、表現と鑑賞の一体化を図っている。 ・「造形的な視点」や「表現のヒント」が必ずあり、思考を深めたり、試作したりできる。 ・体験的に学ぶことができるよう、作品の原寸大表示や、折り曲げて屏風として鑑賞できる見開きページ等を設定している。 ・「作者の言葉」で発想や構想、表現の工夫、作品に込めた思い等を掲載している。
参 考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり

都立 小石川中等教育学校 美術 採択資料

	発行者の番号 略 称	9 開隆堂	38 光 村	116 日 文
内 容	日本の美術作品や受け継がれてきた表現の特質を扱っている箇所数	196	269	260
	諸外国の美術や文化を扱っている箇所数	120	133	130
	「A表現」の内容別題材数	24	25	36
	「A表現」の「表現技法、材料、用具の扱い」について具体的に示したページ数	80	83	95
	「B鑑賞」の題材等の数	58	66	90
構成上の工夫	題材のページにおける内容や表示の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・各題材ページの左上部に関連ページを示し、関連する資料を確認できるようにしている。 ・表現の題材には必ず鑑賞のページを設け、表現と鑑賞の一体化を図っている。 ・各題材で、「発想・構想」、「知識・技能」、「鑑賞」の表示と説明文を入れ、学習の進め方等を示している。 ・「作者の言葉」で発想や構想、表現の工夫、作品に込めた思いを示している。 ・「美術の用語」のコラムを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・題材ページの下部に関連ページを示し、関連する資料を確認できるようにしている。 ・表現の題材には必ず鑑賞のページを設け、表現と鑑賞の一体化を図っている。 ・「みんなの工夫」の小見出しを用意し、表現する際の具体的な工夫について記載している。 ・体験的に学ぶことができるよう、見開きで大きく作品を掲載したり、日本の美術作品に合わせて紙の素材を変えたりしている。 ・美術作品に関連した「美術史ワード」「作者紹介」等のコラムを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文や作品の下部に「参照」として関連するページを示し、関連する資料を確認できるようにしている。 ・題材名の下に「鑑賞の入り口」があり、表現と鑑賞の一体化を図っている。 ・「造形的な視点」や「表現のヒント」が必ずあり、思考を深めたり、試作したりできる。 ・体験的に学ぶことができるよう、作品の原寸大表示や、折り曲げて屏風として鑑賞できる見開きページ等を設定している。 ・「作者の言葉」で発想や構想、表現の工夫、作品に込めた思い等を掲載している。
参 考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり

都立 両国高等学校附属中学校 美術 採択資料

	発行者の番号 略 称	9 開隆堂	38 光 村	116 日 文
内 容	日本の美術作品や受け継がれてきた表現の特質を扱っている箇所数	196	269	260
	諸外国の美術や文化を扱っている箇所数	120	133	130
	「A表現」の内容別題材数	24	25	36
	「A表現」の「表現技法、材料、用具の扱い」について具体的に示したページ数	80	83	95
	「B鑑賞」の題材等の数	58	66	90
構成上の工夫	題材のページにおける内容や表示の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・各題材ページの左上部に関連ページを示し、関連する資料を確認できるようにしている。 ・表現の題材には必ず鑑賞のページを設け、表現と鑑賞の一体化を図っている。 ・各題材で、「発想・構想」、「知識・技能」、「鑑賞」の表示と説明文を入れ、学習の進め方等を示している。 ・「作者の言葉」で発想や構想、表現の工夫、作品に込めた思いを示している。 ・「美術の用語」のコラムを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・題材ページの下部に関連ページを示し、関連する資料を確認できるようにしている。 ・表現の題材には必ず鑑賞のページを設け、表現と鑑賞の一体化を図っている。 ・「みんなの工夫」の小見出しを用意し、表現する際の具体的な工夫について記載している。 ・体験的に学ぶことができるよう、見開きで大きく作品を掲載したり、日本の美術作品に合わせて紙の素材を変えたりしている。 ・美術作品に関連した「美術史ワード」「作者紹介」等のコラムを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文や作品の下部に「参照」として関連するページを示し、関連する資料を確認できるようにしている。 ・題材名の下に「鑑賞の入り口」があり、表現と鑑賞の一体化を図っている。 ・「造形的な視点」や「表現のヒント」が必ずあり、思考を深めたり、試作したりできる。 ・体験的に学ぶことができるよう、作品の原寸大表示や、折り曲げて屏風として鑑賞できる見開きページ等を設定している。 ・「作者の言葉」で発想や構想、表現の工夫、作品に込めた思い等を掲載している。
参 考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり

都立 桜修館中等教育学校 美術 採択資料

	発行者の番号 略 称	9 開隆堂	38 光 村	116 日 文
内 容	日本の美術作品や受け継がれてきた表現の特質を扱っている箇所数	196	269	260
	諸外国の美術や文化を扱っている箇所数	120	133	130
	「A表現」の内容別題材数	24	25	36
	「A表現」の「表現技法、材料、用具の扱い」について具体的に示したページ数	80	83	95
	「B鑑賞」の題材等の数	58	66	90
構成上の工夫	題材のページにおける内容や表示の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・各題材ページの左上部に関連ページを示し、関連する資料を確認できるようにしている。 ・表現の題材には必ず鑑賞のページを設け、表現と鑑賞の一体化を図っている。 ・各題材で、「発想・構想」、「知識・技能」、「鑑賞」の表示と説明文を入れ、学習の進め方等を示している。 ・「作者の言葉」で発想や構想、表現の工夫、作品に込めた思いを示している。 ・「美術の用語」のコラムを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・題材ページの下部に関連ページを示し、関連する資料を確認できるようにしている。 ・表現の題材には必ず鑑賞のページを設け、表現と鑑賞の一体化を図っている。 ・「みんなの工夫」の小見出しを用意し、表現する際の具体的な工夫について記載している。 ・体験的に学ぶことができるよう、見開きで大きく作品を掲載したり、日本の美術作品に合わせて紙の素材を変えたりしている。 ・美術作品に関連した「美術史ワード」「作者紹介」等のコラムを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文や作品の下部に「参照」として関連するページを示し、関連する資料を確認できるようにしている。 ・題材名の下に「鑑賞の入り口」があり、表現と鑑賞の一体化を図っている。 ・「造形的な視点」や「表現のヒント」が必ずあり、思考を深めたり、試作したりできる。 ・体験的に学ぶことができるよう、作品の原寸大表示や、折り曲げて屏風として鑑賞できる見開きページ等を設定している。 ・「作者の言葉」で発想や構想、表現の工夫、作品に込めた思い等を掲載している。
参 考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり

都立 立川国際中等教育学校 美術 採択資料

	発行者の番号 略 称	9 開隆堂	38 光 村	116 日 文
内 容	日本の美術作品や受け継がれてきた表現の特質を扱っている箇所数	196	269	260
	諸外国の美術や文化を扱っている箇所数	120	133	130
	「A表現」の内容別題材数	24	25	36
	「A表現」の「表現技法、材料、用具の扱い」について具体的に示したページ数	80	83	95
	「B鑑賞」の題材等の数	58	66	90
構成上の工夫	題材のページにおける内容や表示の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・各題材ページの左上部に関連ページを示し、関連する資料を確認できるようにしている。 ・表現の題材には必ず鑑賞のページを設け、表現と鑑賞の一体化を図っている。 ・各題材で、「発想・構想」、「知識・技能」、「鑑賞」の表示と説明文を入れ、学習の進め方等を示している。 ・「作者の言葉」で発想や構想、表現の工夫、作品に込めた思いを示している。 ・「美術の用語」のコラムを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・題材ページの下部に関連ページを示し、関連する資料を確認できるようにしている。 ・表現の題材には必ず鑑賞のページを設け、表現と鑑賞の一体化を図っている。 ・「みんなの工夫」の小見出しを用意し、表現する際の具体的な工夫について記載している。 ・体験的に学ぶことができるよう、見開きで大きく作品を掲載したり、日本の美術作品に合わせて紙の素材を変えたりしている。 ・美術作品に関連した「美術史ワード」「作者紹介」等のコラムを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文や作品の下部に「参照」として関連するページを示し、関連する資料を確認できるようにしている。 ・題材名の下に「鑑賞の入り口」があり、表現と鑑賞の一体化を図っている。 ・「造形的な視点」や「表現のヒント」が必ずあり、思考を深めたり、試作したりできる。 ・体験的に学ぶことができるよう、作品の原寸大表示や、折り曲げて屏風として鑑賞できる見開きページ等を設定している。 ・「作者の言葉」で発想や構想、表現の工夫、作品に込めた思い等を掲載している。
参 考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり

都立 武蔵高等学校附属中学校 美術 採択資料

	発行者の番号 略 称	9 開隆堂	38 光 村	116 日 文
内 容	日本の美術作品や受け継がれてきた表現の特質を扱っている箇所数	196	269	260
	諸外国の美術や文化を扱っている箇所数	120	133	130
	「A表現」の内容別題材数	24	25	36
	「A表現」の「表現技法、材料、用具の扱い」について具体的に示したページ数	80	83	95
	「B鑑賞」の題材等の数	58	66	90
構成上の工夫	題材のページにおける内容や表示の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・各題材ページの左上部に関連ページを示し、関連する資料を確認できるようにしている。 ・表現の題材には必ず鑑賞のページを設け、表現と鑑賞の一体化を図っている。 ・各題材で、「発想・構想」、「知識・技能」、「鑑賞」の表示と説明文を入れ、学習の進め方等を示している。 ・「作者の言葉」で発想や構想、表現の工夫、作品に込めた思いを示している。 ・「美術の用語」のコラムを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・題材ページの下部に関連ページを示し、関連する資料を確認できるようにしている。 ・表現の題材には必ず鑑賞のページを設け、表現と鑑賞の一体化を図っている。 ・「みんなの工夫」の小見出しを用意し、表現する際の具体的な工夫について記載している。 ・体験的に学ぶことができるよう、見開きで大きく作品を掲載したり、日本の美術作品に合わせて紙の素材を変えたりしている。 ・美術作品に関連した「美術史ワード」「作者紹介」等のコラムを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文や作品の下部に「参照」として関連するページを示し、関連する資料を確認できるようにしている。 ・題材名の下に「鑑賞の入り口」があり、表現と鑑賞の一体化を図っている。 ・「造形的な視点」や「表現のヒント」が必ずあり、思考を深めたり、試作したりできる。 ・体験的に学ぶことができるよう、作品の原寸大表示や、折り曲げて屏風として鑑賞できる見開きページ等を設定している。 ・「作者の言葉」で発想や構想、表現の工夫、作品に込めた思い等を掲載している。
参 考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり

都立 富士高等学校附属中学校 美術 採択資料

	発行者の番号 略 称	9 開隆堂	38 光 村	116 日 文
内 容	生活や社会を美しく豊かにする美術の 働きを扱っているページ数	77	61	69
	諸外国の美術や文化を扱っている箇所 数	120	133	130
	「A表現」の内容別題材数	24	25	36
	「A表現」の「表現技法、材料、用具の 扱い」について具体的に示したペー ジ数	80	83	95
	「B鑑賞」の題材等の数	58	66	90
構成 上 の 工 夫	題材のページにおける内容や表示 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・各題材ページの左上部に関連ページを示し、関連する資料を確認できるようにしている。 ・表現の題材には必ず鑑賞のページを設け、表現と鑑賞の一体化を図っている。 ・各題材で、「発想・構想」、「知識・技能」、「鑑賞」の表示と説明文を入れ、学習の進め方等を示している。 ・「作者の言葉」で発想や構想、表現の工夫、作品に込めた思いを示している。 ・「美術の用語」のコラムを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・題材ページの下部に関連ページを示し、関連する資料を確認できるようにしている。 ・表現の題材には必ず鑑賞のページを設け、表現と鑑賞の一体化を図っている。 ・「みんなの工夫」の小見出しを用意し、表現する際の具体的な工夫について記載している。 ・体験的に学ぶことができるよう、見開きで大きく作品を掲載したり、日本の美術作品に合わせて紙の素材を変えたりしている。 ・美術作品に関連した「美術史ワード」「作者紹介」等のコラムを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文や作品の下部に「参照」として関連するページを示し、関連する資料を確認できるようにしている。 ・題材名の下に「鑑賞の入り口」があり、表現と鑑賞の一体化を図っている。 ・「造形的な視点」や「表現のヒント」が必ずあり、思考を深めたり、試作したりできる。 ・体験的に学ぶことができるよう、作品の原寸大表示や、折り曲げて屏風として鑑賞できる見開きページ等を設定している。 ・「作者の言葉」で発想や構想、表現の工夫、作品に込めた思い等を掲載している。
参 考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり

都立 大泉高等学校附属中学校 美術 採択資料

	発行者の番号 略 称	9 開隆堂	38 光 村	116 日 文
内 容	日本の美術作品や受け継がれてきた表現の特質を扱っている箇所数	196	269	260
	諸外国の美術や文化を扱っている箇所数	120	133	130
	「A表現」の内容別題材数	24	25	36
	「A表現」の「表現技法、材料、用具の扱い」について具体的に示したページ数	80	83	95
	「B鑑賞」の題材等の数	58	66	90
構成上の工夫	題材のページにおける内容や表示の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・各題材ページの左上部に関連ページを示し、関連する資料を確認できるようにしている。 ・表現の題材には必ず鑑賞のページを設け、表現と鑑賞の一体化を図っている。 ・各題材で、「発想・構想」、「知識・技能」、「鑑賞」の表示と説明文を入れ、学習の進め方等を示している。 ・「作者の言葉」で発想や構想、表現の工夫、作品に込めた思いを示している。 ・「美術の用語」のコラムを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・題材ページの下部に関連ページを示し、関連する資料を確認できるようにしている。 ・表現の題材には必ず鑑賞のページを設け、表現と鑑賞の一体化を図っている。 ・「みんなの工夫」の小見出しを用意し、表現する際の具体的な工夫について記載している。 ・体験的に学ぶことができるよう、見開きで大きく作品を掲載したり、日本の美術作品に合わせて紙の素材を変えたりしている。 ・美術作品に関連した「美術史ワード」「作者紹介」等のコラムを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文や作品の下部に「参照」として関連するページを示し、関連する資料を確認できるようにしている。 ・題材名の下に「鑑賞の入り口」があり、表現と鑑賞の一体化を図っている。 ・「造形的な視点」や「表現のヒント」が必ずあり、思考を深めたり、試作したりできる。 ・体験的に学ぶことができるよう、作品の原寸大表示や、折り曲げて屏風として鑑賞できる見開きページ等を設定している。 ・「作者の言葉」で発想や構想、表現の工夫、作品に込めた思い等を掲載している。
参 考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり

都立 南多摩中等教育学校 美術 採択資料

	発行者の番号 略 称	9 開隆堂	38 光 村	116 日 文
内 容	生活や社会を美しく豊かにする美術の働きを扱っているページ数	77	61	69
	諸外国の美術や文化を扱っている箇所数	120	133	130
	「A表現」の内容別題材数	24	25	36
	「A表現」の「表現技法、材料、用具の扱い」について具体的に示したページ数	80	83	95
	「B鑑賞」の題材等の数	58	66	90
構成上の工夫	題材のページにおける内容や表示の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・各題材ページの左上部に関連ページを示し、関連する資料を確認できるようにしている。 ・表現の題材には必ず鑑賞のページを設け、表現と鑑賞の一体化を図っている。 ・各題材で、「発想・構想」、「知識・技能」、「鑑賞」の表示と説明文を入れ、学習の進め方等を示している。 ・「作者の言葉」で発想や構想、表現の工夫、作品に込めた思いを示している。 ・「美術の用語」のコラムを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・題材ページの下部に関連ページを示し、関連する資料を確認できるようにしている。 ・表現の題材には必ず鑑賞のページを設け、表現と鑑賞の一体化を図っている。 ・「みんなの工夫」の小見出しを用意し、表現する際の具体的な工夫について記載している。 ・体験的に学ぶことができるよう、見開きで大きく作品を掲載したり、日本の美術作品に合わせて紙の素材を変えたりしている。 ・美術作品に関連した「美術史ワード」「作者紹介」等のコラムを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文や作品の下部に「参照」として関連するページを示し、関連する資料を確認できるようにしている。 ・題材名の下に「鑑賞の入り口」があり、表現と鑑賞の一体化を図っている。 ・「造形的な視点」や「表現のヒント」が必ずあり、思考を深めたり、試作したりできる。 ・体験的に学ぶことができるよう、作品の原寸大表示や、折り曲げて屏風として鑑賞できる見開きページ等を設定している。 ・「作者の言葉」で発想や構想、表現の工夫、作品に込めた思い等を掲載している。
参 考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり

都立 三鷹中等教育学校 美術 採択資料

	発行者の番号 略 称	9 開隆堂	38 光 村	116 日 文
内 容	生活や社会を美しく豊かにする美術の働きを扱っているページ数	77	61	69
	諸外国の美術や文化を扱っている箇所数	120	133	130
	「A表現」の内容別題材数	24	25	36
	「A表現」の「表現技法、材料、用具の扱い」について具体的に示したページ数	80	83	95
	「B鑑賞」の題材等の数	58	66	90
構成上の工夫	題材のページにおける内容や表示の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・各題材ページの左上部に関連ページを示し、関連する資料を確認できるようにしている。 ・表現の題材には必ず鑑賞のページを設け、表現と鑑賞の一体化を図っている。 ・各題材で、「発想・構想」、「知識・技能」、「鑑賞」の表示と説明文を入れ、学習の進め方等を示している。 ・「作者の言葉」で発想や構想、表現の工夫、作品に込めた思いを示している。 ・「美術の用語」のコラムを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・題材ページの下部に関連ページを示し、関連する資料を確認できるようにしている。 ・表現の題材には必ず鑑賞のページを設け、表現と鑑賞の一体化を図っている。 ・「みんなの工夫」の小見出しを用意し、表現する際の具体的な工夫について記載している。 ・体験的に学ぶことができるよう、見開きで大きく作品を掲載したり、日本の美術作品に合わせて紙の素材を変えたりしている。 ・美術作品に関連した「美術史ワード」「作者紹介」等のコラムを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文や作品の下部に「参照」として関連するページを示し、関連する資料を確認できるようにしている。 ・題材名の下に「鑑賞の入り口」があり、表現と鑑賞の一体化を図っている。 ・「造形的な視点」や「表現のヒント」が必ずあり、思考を深めたり、試作したりできる。 ・体験的に学ぶことができるよう、作品の原寸大表示や、折り曲げて屏風として鑑賞できる見開きページ等を設定している。 ・「作者の言葉」で発想や構想、表現の工夫、作品に込めた思い等を掲載している。
参 考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり